南東京特集

モノづくり支える子供たちを育成

NPO、市民向けに環境保全・改善活動

世田谷区

NPO法人地球環境カレッジ（GEC）は世田谷区内に本拠を構え、一般市民向けの環境に関する定例講演会や小中学生向けの自然観察会などを実施し、環境の保全や改善に関する意識の啓発に貢献している。

始まりは社員教育

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタントを手がける、いであ（世田谷区）が環境に関する教育を社員に施すためにつくったのがきっかけ。国の研究機関にいち民間企業のための講演を依頼することが難しかったこともあり、民間企業ではなくNPO法人として設立した。そのため官公庁や他のNPO法人と連携でき活動の幅が広がった。設立した2004年から数えて14年で10年目を迎える。多くの活動はいであ社員のボランティアによって支えられている。

GECの主な活動は二つ。一つは定例の講演会。エネルギー問題など環境に関するテーマで1回あたり90分の講演を年間8回程度実施。参加は自由で、世田谷区内や周辺地域の住民にも参加を呼びかけている。いであ社員の教育も兼ねている。GECの井上由美事務局長（いであ執行役員）は「環境分野は非常に幅広く、外部の講師を呼び、社内で勉強できるようにした。いであだけでなく、同業他社や官公庁の職員が参加することもある」と話す。

自然観察会を実施

GECのもうひとつの取り組みが地域の子供たちと自然観察などを行う環境学習・教育事業だ。その事業のうち水辺や里山を活用した自然観察会「子ども環境カレッジ」を年に数回を行っている。夏場は水辺の生き物、冬場には野鳥の観察などを行っている。いであ本社のホールを利用し、近隣の小学生に押し花や昆虫標本づくりの実習を行うイベントは特に好評だという。いであ社員が実際の作業の方法を子供たちに丁寧に教える。13年8月に実施した夏休みイベントでは、子供とその保護者合わせて70人が参加した。

GECの小島伸一副理事長は「子供たちからは『楽しかった』『おもしろかった』と好評で、中にはこれを楽しみに毎年イベントに参加する子供もいる。また一緒に参加している保護者が夢中になってしまうケースもあるほどだ」とイベントの盛況ぶりを興奮気味に話す。

これらの活動はいであ大阪支社でも一部実施しており、「年に2回、東京と大阪でそれぞれ実施していきたい」（小島副理事長）としている。

地域の協力の輪

ボランティアとして参加する社員にとっても得るものは多い。例えば竜巻や雲ができる原理を教えるための実習があるが、子供に理解させることは難しい。井上事務局長は「わかっている人同士で話すのではなく、全く知らない人にどのように説明するのを考えることは訓練になる」とボランティアに参加するメリットを強調する。

これらの活動はいであ社員だけでなく地域の協力が不可欠。ちりめんじゃこをより分けるための実習には漁協からしらすをもらったり、パン屋から鳥の餌をもらったりすることもある。「今後の活動を広げるためにも、こうした地域の協力の輪が広がっていくとうれしい」（井上事務局長）としている。

環境学習・教育事業の一環で、近隣の小学生に押し花の実習などを行うイベントは好評

小中学生対象に工作や理科の実習支援

品川区

NPO法人コアネット（東京都品川区、増島勝代表理事）は、小中学生などを対象に工作や理科の実習などを実施し、学校支援を行っている。産業界で培ったノウハウや知識を後進の育成に役立てたいという思いを持った企業OBによって2000年に設立された。製造業、商社、銀行、公務員など幅広い分野から参加しており、東京と大阪を合わせて約100人が活動している。

身近な材料で

学校支援活動は主に「出前授業」「長期授業プログラム」「ものづくり・理科支援教室」の三つからなる。

その中のものづくり・理科教室では主に小学生を対象に、電子部品を使った工業製品づくりやジャム瓶を使った電球の理科実験などを行っている。

また多くの子供が参加できるよう牛乳パックやクリップなど身近な材料を教材に利用し費用を抑える工夫もしている。

2時間の授業のうち、1時間目に作品を作り、2時間目で自由に遊ぶプログラムになっている。この「遊ぶ」というプログラムが子供にとても好評だという。宮崎顕作理事は「早くできた子供は遊びに行ってもいいし、作業が遅い子供を手伝ってもいい」と子供の自主性に任せる方針を掲げる。

完成する喜びを

これらの授業にはコアネットのメンバーや地元企業から派遣された社員がインストラクターとして参加する。インキュベーターの村山勝彦氏は「失敗してもいいので完成する喜びを知ってほしい。インストラクターは教えるというより見守ることを主体にしており、子供たちからわからないことを自発的に聞くよう促している」と話す。

「モノづくりの過程の中で、早くできた子供が他の子供を手伝ったり、インストラクターにわからないことを聞いたりする姿が見られる。学校の先生以外の大人とのふれあいは子供にとって大きな刺激になる」と話す。さまざまな人とのふれあいがコミュニケーション能力の向上に寄与している。

キャリア講座も

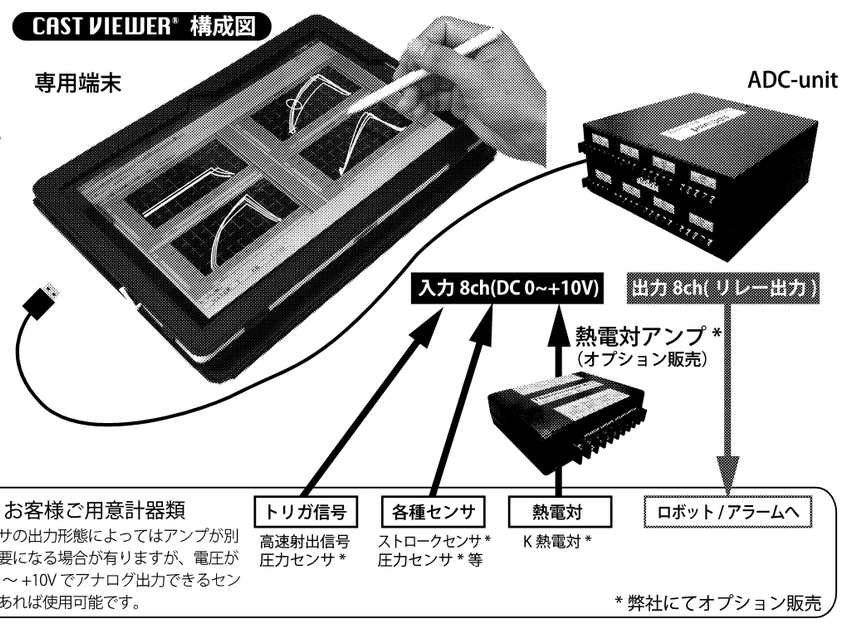
ほかに「働くとはどういうことなのか」「世の中にはどんな仕事があり自分はどんな仕事に向いているか」などを小中高生に考えさせるプログラムもある。職業に関する講話やキャリア講座などに年間50校、のべ400人の講師を派遣している。また長期のワークショップ形式で行うプログラムも実施しており、村山氏は「コミュニケーション能力が鍛えられ、チームで行動する能力の向上が期待できる」と話す。

これらの活動を通し、日本のモノづくりを支える若い芽を育てていく。

ジャム瓶を利用した電球の理科実験などで、モノづくりに興味を持つ子供を育成する

田邊ガステクノ株式会社　TANABE GAS TECHNO
生産に合ったシステムをご提供します。
窒素ガス発生装置
・初期投資費用なし
・メンテナンス費用なし
・月々の固定料金のみ
各種ガスの用途開発とコンサルティング事業の構築を推進
〒212-0053　神奈川県川崎市幸区下平間 357 番地
TEL : 044-522-4563　FAX : 044-541-3886　http://www.tanabegas.co.jp

日刊工業新聞社は城南地域の産業を応援しています。
日刊工業新聞社
南東京支局
〒144-0052　東京都大田区蒲田5-46-1　秋元ビル4F
TEL:03-3732-5451　FAX:03-3732-5453
日刊工業電子版　検索

NAMBU HYDRAULIC CYLINDERS
新製品 CAST VIEWER®
センサから出力される電圧を波形として表示することができるデバイスです。
鋳造条件の『見える化→分析』でスクイズ管理や生産性向上に貢献！
機　能
・波形の保存、呼び出し、複数波形の重ね合わせ
・合否範囲設定による OK/NG のリレー信号出力
・入出力は共に 8 チャンネル
・波形表示は最大 8 個
・データ及び波形画面 (プリントスクリーン) の取出しが簡単 (USB メモリ使用)
使用例
①スクイズ動作の診断
②金型の温度測定
③シリンダ引抜き力の診断
CAST VIEWER® 構成図


お客様ご用意計器類
センサの出力形態によってはアンプが別途必要になる場合が有りますが、電圧が DC 0 ～ +10V でアナログ出力できるセンサであれば使用可能です。
* 弊社にてオプション販売
特殊油圧シリンダ設計・製作・販売
株式会社 南武
本　社　〒144-0047 東京都大田区萩中 3-14-18
TEL 03(3742)7377　FAX 03(3745)1021
E-mail eigyo@nambu-cyl.co.jp
URL http://www.nambu-cyl.co.jp
海外拠点　タイ・中国・アメリカ
ISO9001:2008
ISO14001:2004 認証取得

TATSUNO
2014 Peace Of Mind
新型計量機「NXシリーズ」の
●燃料油への水混入を検知して給油を停止する機能
●給油中に放出されるガソリンベーパーを高効率に回収する機能
(SUNNY-NX D70・TOWER-NX D70)
いずれもSSが抱える不安や悩みを解消する機能です。
タツノは今年も皆様に「Peace Of Mind」をお届けします。

株式会社タツノ
本社／〒108-8520 東京都港区芝浦 2-12-13
http://www.tatsuno.co.jp/
Tel 050-9000-0567 (営業本部営業部)